



旧居留地エントランスガーデン

- ・擁壁や殺風景なエントランスを改変
- ・旧居留地側の街と調和した立体的な壇状花壇
- ・エントランス(3箇所)を広く拡張、地区の回遊性の向上
- ・既存の緑陰を活用した休憩スポット
- ・大規模イベント時は、大量の人の移動に対応

見晴しひろば

- ・地下駐車場による地形の高低差を活かしたテラスひろば
- ・フラットなデッキ構造による休憩施設
- ・緑の中で休養やランチを楽しむ場
- ・小規模イベントや特定公園施設と連携したイベントを開催
- ・大規模イベント時の新たな利用を図る

※南側エリアについては、安藤建築事務所から提案を受けた「こどものための図書館」と整備予定の税関前歩道橋を配置した図面になっております。計画内容については決定したものではありません。

慰霊と復興の街角

- ・慰霊の場として静謐な環境を創出
- ・休養の場、集会所等に利用
- ・1.17のつどいの記帳受付の場等に利用
- ・モニュメント周辺の混雑を緩和

芝生と舗装のひろば

- ・フラワーロードから平坦に連続
- ・どこからでもアプローチしやすい賑わい空間
- ・特定公園施設が一体となった芝生と舗装の広場
- ・にぎわい事業者のプログラムや市民の多様な活動、日常的な各種レクリエーションに活用
- ・今までよりも大きなイベントの開催に対応
- ・イベント規模や内容に応じて空間を使い分け

みちひろば

- ・フラワーロードと一体となった緑陰のみちひろば
- ・樹冠下を有効活用した豊かな緑陰空間
- ・旧生田川の記憶の継承する水盤や水路を整備
- ・小規模イベントや木陰のマーケット等の場として活用
- ・大量の人の円滑・安全な利用や移動に対応